



国際日本研究

第十八号 二〇二六年 三月

研究論文

- Xin GUO 1
An Examination of Press Freedom Erosion in Japan during the Initial Phase of COVID-19
- 黄 豪 23
荻生徂徠『天狗説』と近世鬼神論の思想的展開
- 呉 楊 42
接触場面の相互行為における発話の協働構築：「引き取り」現象について
- 柴田 政子 65
旧東ドイツにおけるナチ・ドイツの過去：二つの独裁政権と対峙する歴史教育

研究ノート

- KuangYu FAN 83
Constructivism and China's International Engagement: Deng's Era to Xi and Trump
- ムカイ フェリペ ナオト 98
ブラジルの日本語教育における教師のビリーフの変容：公教育以外の機関のオンライン授業への移行を事例として
- 楊 曦晨 115
伊犁通商条約（1851年）の締結過程における奕山の主張：清朝の対ロシア交渉方針の決定過程

研究展望

- 平沢 照雄 127
企業城下町日立における地域中小企業分析の成果と課題：1990年代以降の研究動向を中心に

筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム

『国際日本研究』は、筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群国際日本研究学位プログラムにより年に1回発行される、国際的視野を持った日本研究のジャーナルです。

本ジャーナルは、国際比較、国際学の観点から行われる広義の日本研究領域（政治、経済、社会、メディア・情報研究、文化、言語学と言語教育学、芸術、文学研究等）に関する学位プログラム内外の先端的研究成果を公表することによって、開かれた議論を促進するために刊行されています。

『国際日本研究』を通じて、日本研究・日本語研究をはじめ、国際比較研究、国際学研究がさらに発展することを期待しています。

著作権について

本紀要のウェブサイト (<https://japan.tsukuba.ac.jp/research/>) の掲載内容（著作者を明記した論文等を除く）に関する著作権は、筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群国際日本研究学位プログラムに帰属します。掲載論文等の著作権は著作者に属し、引用や使用許可を含む各論文等の内容に関する責任は著作者にあります。

国際日本研究 第十八号

〔編集委員会〕

喜田川 たまき（編集長）

ヴァンバーレン・ルート

葛西 太一

タック川崎・レスリー

田中 醇

ブッシュネル・ケード・コンラン

〔学生編集委員会〕

金 成娟

表紙及びレイアウト 学生編集委員会

.....
2026年3月15日発行

編集・発行

筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群

国際日本研究学位プログラム

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム

TEL: 029-853-4037

FAX: 029-853-4038

Eメール: jiajs@japan.tsukuba.ac.jp

筑波大学
国際日本研究
第18号
2026年3月

目次

<https://japan.tsukuba.ac.jp/research/>

研究論文

- Xin GUO 1
An Examination of Press Freedom Erosion in Japan during the Initial Phase of COVID-19
- 黄 豪 23
荻生徂徠『天狗説』と近世鬼神論の思想的展開
- 呉 楊 42
接触場面の相互行為における発話の協働構築：「引き取り」現象について
- 柴田 政子 65
旧東ドイツにおけるナチ・ドイツの過去：二つの独裁政権と対峙する歴史教育

研究ノート

- KuangYu FAN 83
Constructivism and China's International Engagement:
Deng's Era to Xi and Trump
- ムカイ フェリペ ナオト 98
ブラジルの日本語教育における教師のビリーフの変容：
公教育以外の機関のオンライン授業への移行を事例として

- 楊 曦晨 115
伊犁通商条約（1851年）の締結過程における奕山の主張：
清朝の対ロシア交渉方針の決定過程

研究展望

- 平沢 照雄 127
企業城下町日立における地域中小企業分析の成果と課題：
1990年代以降の研究動向を中心に

『国際日本研究』

投稿規定

(R7. 5月改訂)

- (1) 本紀要は、筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群国際日本研究学位プログラムにより発行され、国際比較、国際学の観点から行われる広義の日本研究領域（政治、経済、社会、メディア・情報研究、文化、言語学と言語教育学、芸術、文学研究等）の学位プログラム内外の先進的な研究成果を公表することによって、開かれた議論を促進するために刊行される。
- (2) 本紀要は、(1)の目的にかなう原稿、また本学位プログラムの教育研究活動に資する原稿の投稿を受け付ける。
- (3) 本紀要に投稿できる原稿は、以下のものとする。
 - ① 未投稿・未発表の原稿。
 - ② 学会等で口頭発表され、その旨を明記した原稿。
 - ③ 本紀要編集委員会の定めた投稿規定およびテンプレートに従った原稿。
- (4) 他の学会誌や研究紀要等で出版された原稿と著しく重複する内容の原稿を、本紀要に投稿することは認めない。
- (5) 本紀要に投稿できる原稿の種類は、以下のものとする。
 - ① 研究論文：「研究論文」とは、新規性を有する研究を報告するものであり、その原稿は、序論、当該研究分野に関する文献及び当該研究に用いられた理論上の構成概念又は枠組みに対する批評、研究を行うために使用した方法、研究のデータ及び結果、そして分析結果及びその含意について論じた結論部分を含んでいることを要する。
 - ② 研究ノート：「研究ノート」とは、研究論文のように厳密な構成の文書である必要はないが、学会誌の読者の目に新たな見解をもたらす、理論的な視点、研究計画又は方法的アプローチを進展させることを試みるものであることを要する。
 - ③ その他：書評論文、研究調査の内容を資料として提供するもの、教育研究活動についての報告、研究プロジェクトの報告、オーラルヒストリー（史・資料の紹介に重点を置きつつ、考察を加えたもの）等。
- (6) 本紀要に投稿することができる者は、次の者とする。
 - ① 筑波大学人文社会ビジネス科学学術院に現在所属しているもしくは以前所属していた教員・研究員
 - ② 国際日本研究学位プログラムに所属する学生（短期プログラム等に参加中もしくは参加経験のある学生を含む）
 - ③ 本学位プログラムの修了生またはその他本紀要編集委員会が認める者※ ①～③に該当する者は所在地を問わない。投稿の際、現在の所属・肩書、住所、電話番号、所属機関から発行されている投稿者のメールアドレス（Gmailなどのフリーメール、独自ドメインのメールアドレスは不可）が明記されていること。
- (7) 本紀要に投稿する者は、以下の責務を負う。
 - ① 投稿者は、eAPRINやeLCoRE等の大学が定める研究倫理教育を、最低5年ごとに受講する。但し、これらの e-learning 教育を受けることができない者は、これと同等の研究倫理教育を受講することで代替することができる。
 - ② 投稿者は、iThenticate等の論文剽窃検知ツールによりチェックを行い、投稿原稿に既存の著作との類似がないことを確認する。
 - ③ 投稿者は、投稿原稿に剽窃、データの捏造、改ざん、個人情報の不当な扱い等の不適切な作成方法が含まれていないという誓約書を提出する。
 - ④ 明白な権利侵害、現代日本の社会通念上不適切と思われる表現については、特にそれが本文中で考察・分析の対象となっている場合を除き、あるいは研究対象となる文章、発言、その他の資料をそのまま掲載する等の必然性がある場合を除き、避けなければならない。各種権利や社会通念上の問題については、「筑波大学におけるウェブ公開ガイドライン」などを参照すること（<https://www.u.tsukuba.ac.jp/guideline/>）。
- (8) 単著の著者または共著の著者が提出できる原稿は各1本とする。
- (9) 原稿は、日本語または英語を使用し、ワープロ（A4サイズ）にて横書きで作成する。研究論文は20,000字（英文は10,000語）以内で、研究ノートは12,000字（英文は6,000語）以内で作成する。執筆は原則として、本誌ウェブサイトを提供する様式に合わせることにする。
- (10) 各原稿の冒頭に、日本語と英語の双方で、氏名、論文タイトル、プロフィール（所属・肩書）、要旨（英文原稿の場合150語程度の英文要旨のみ、和文原稿の場合150語程度の英文要旨および400字程度の和文要旨）、キーワード（英文原稿の場合5語まで、和文原稿の場合は日本語と英語で各5語まで）を明記する。
- (11) 英文原稿は英語母語話者のチェック、和文原稿は日本語母語話者のチェックを受けておくことが望ましい。
- (12) 一度提出した原稿の差し替えは原則として認めない。また、投稿原稿は返却しない。
- (13) 投稿原稿に対する査読は、以下の規定に従って行われる。
 - ① 本紀要編集委員会が投稿原稿の全てについて精査した上で、投稿者に原稿の加筆・修正を求めることができる。
 - ② 投稿原稿1件について査読者を2名以上とし、当該原稿が該当する研究分野を専門とする者とする。査読者に対して、著者名、所属は通知されない。
 - ③ 査読は、本紀要編集委員会が、原則として人文社会系構成員に対して依頼する。人文社会系構成員に適任者がいない場合には、人文社会系以外の教員又は学外者に対して、国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長が依頼する。
 - ④ 査読者は、査読結果について、国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長に報告する。投稿原稿に不適切な作成方法が含まれている疑いがあると判断する場合は、その旨を国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長に報告する。

- ⑤ 本紀要編集委員長は、採録、加筆・修正または不採録についての査読結果を、その理由を付して投稿者に通知する。個々の査読者の判定結果及び査読者の氏名は、投稿者に対して通知しない。
- ⑥ 投稿者は、査読結果について、別途定める手続きにより、本紀要編集委員長に不服申立てをすることができる。
- (14) 投稿原稿の採録、加筆・修正または不採録に関する裁定は、査読結果に基づき、本紀要編集委員会が行う。投稿原稿の採否について査読者の意見が分かれた場合、国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長は、別の査読者に査読を依頼し、本紀要編集委員会が最終的に採否を決定する。
- (15) 採録決定者は、査読結果に関する通知を受けた後、入稿用の原稿を作成し、電子ファイルをメール添付で指定された日時までに提出する。
- (16) 『国際日本研究』に掲載された原稿は、筑波大学つくばリポジトリ等で電子化され、保管され、本学位プログラムのホームページにおいても、PDF形式で公開される。
- (17) 発行回数は年1回以上とする。紀要別冊を設ける場合もある。

原稿提出先・問い合わせ先
〒 305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群国際日本研究学位プログラム
『国際日本研究』紀要編集委員長宛
jiajs@japan.tsukuba.ac.jp

※原稿募集については、以下のウェブサイトをご参照ください。<https://japan.tsukuba.ac.jp/research/submission-guidelines/>

Journal of International and Advanced Japanese Studies

Submission Guidelines

(Revised in May 2025)

1. The *Journal of International and Advanced Japanese Studies* is published by the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies, Degree Programs in Humanities and Social Sciences, Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba. The *Journal* aims to promote open debate through publishing the results of leading research in Japanese Studies and welcomes submissions from the perspectives of cross-national and international studies (encompassing politics, economy, society, media and information studies, culture, linguistics and pedagogy, the arts, and literature).
2. Manuscripts that contribute to the purpose outlined above and to the Program's educational practices and research activities will be considered.
3. The following manuscripts will be considered for publication:
 - A) Unpublished manuscripts that are not under review elsewhere.
 - B) Manuscripts that are clearly identified as based on oral presentations.
 - C) Manuscripts that conform to the submission guidelines and template specified by the Editorial Committee.
4. Manuscripts that significantly overlap in content with those published in other academic journals or research bulletins will not be accepted.
5. The following types of manuscripts will be considered:
 - A) Research Articles: A "research article" is a fully structured academic paper that reports on original research. The manuscript must include an introductory section, a critical review of the literature in the field and any theoretical constructs or framework used in the research, the method(s) employed to undertake the research, the data/results of the research, and a concluding section discussing the findings and implications.
 - B) Research Notes: In terms of content and structure, a "research note" may differ from a research paper. However, it should attempt to advance a new idea, theoretical perspective, research program, or methodological approach.
 - C) Other papers: Review articles, research survey reports, reports on educational or research activities, research project reports, and oral histories (with a focus on introducing and discussing historical and factual materials), etc.
6. Those who are eligible to submit to the *Journal* are as follows:
 - A) Faculty currently or previously affiliated with the Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences at the University of Tsukuba.
 - B) Students (including short-term students) who are affiliated with the Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies.
 - C) Alumni or other authors as deemed eligible by the Editorial Committee.

※ Eligible authors must indicate their current affiliation, title, phone number, and institutional email address. In order to confirm affiliation, free email addresses such as Gmail and private email addresses are not acceptable.
7. Authors intending to submit manuscripts for consideration by the *Journal* have the following responsibilities:
 - A) Authors must demonstrate that they have taken an educational course on research ethics, such as those provided online by the University of Tsukuba that include eAPRIN and eL CoRE, within the past five years. Those potential authors who are unable to take the University of Tsukuba's online research ethics courses are allowed to submit proof that they have taken one or more equivalent courses.
 - B) Authors must undertake the task of checking their manuscripts with anti-plagiarism software (such as iThenticate) to confirm that the content of their submission does not significantly overlap with that of previously published research.
 - C) Authors must attest that their manuscripts are not plagiarized, that the data referred to within the manuscript has not been falsified, and that there has been fair and legal treatment of any collection of personal and identifiable data.
 - D) Expressions that are clear violations of rights or that are considered inappropriate under social conventions in contemporary Japan should be avoided, unless they are the subject of discussion and analysis in the text, or unless there is a necessity to publish research-related text, talk, and other materials verbatim. For information on various rights and issues regarding social conventions, refer to the "Guidelines for Releasing Information on the Web at the University of Tsukuba" (<https://www.u.tsukuba.ac.jp/system-guideline/>).
8. Authors are limited to submitting up to one single-authored manuscript and one jointly authored manuscript per issue.
9. Manuscripts must be written in either Japanese or English and formatted for A4-size paper using word processing software. Manuscripts are required to follow the template that is available on the *Journal's* website. Research articles should not exceed 10,000 words (or 20,000 characters in Japanese), and research notes should not exceed 6,000 words (or 12,000 characters in Japanese).
10. Each manuscript must include: (1) Author(s) name(s), (2) Title, (3) Affiliated institution(s) and job title(s), (4) Abstract (about 150 words in English for all manuscripts; Japanese-language manuscripts also must include a Japanese-language abstract of about 400 characters); and (5) Keywords (maximum of 5 words; in English for all manuscripts; Japanese-language manuscripts also must include keywords in Japanese).
11. Prior to submission, it is highly recommended that English-language manuscripts be checked by a native English speaker and Japanese-language manuscripts be checked by a native Japanese speaker.
12. In principle, originally submitted manuscripts may not be replaced by updated versions and submitted manuscripts will not be returned.
13. Submitted manuscripts will undergo the following peer review process:
 - A) The Editorial Committee will review all manuscripts and may ask authors to supplement or revise the content of their manuscripts.

- B) Each manuscript will undergo a peer review process by at least two peer reviewers who are specialists in the appropriate academic field. Neither the authors' names nor affiliations will be communicated to the reviewers.
- C) In principle, the Editorial Committee will request reviews from researchers affiliated with the Faculty of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba. If necessary, the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the Editorial Committee will request reviews from researchers affiliated with other programs within the University of Tsukuba or from researchers affiliated with educational institutions outside the University of Tsukuba.
- D) Peer reviewers will report the results of the peer review process to the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the Editorial Committee. Any issues that may arise concerning inappropriate creation methods (including plagiarism, data falsification, or breaches in the handling of personal and identifiable information and/or data) will be reported to the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the head of the Editorial Committee.
- E) The head of the Editorial Committee will inform the author(s) of the decisions of the peer review process, as well as reasons for acceptance, revision, or rejection. Neither individual peer reviewers' results nor their names will be communicated to the authors.
- F) Authors may appeal the results of the peer review process to the head of the Editorial Committee through a separate set of procedures.
14. Decisions as to acceptance, revision, or rejection, based on the results of the peer review process, will be made by the Editorial Committee. In cases where there is non-agreement between peer review results, the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the head of the Editorial Committee may request further peer reviews of the manuscript under consideration. The final decision as to acceptance, conditional acceptance, or rejection will be decided by the Editorial Committee.
15. Authors whose papers have been accepted for the *Journal* must prepare the manuscript for publication and submit it through email by the due date designated by the Editorial Committee.
16. The *Journal* will be stored electronically in the Tsukuba Repository (University of Tsukuba Library). The papers will be also available in PDF format on the Program's website.
17. The *Journal* is published at least once per year. Supplements may also be published.

Address for submissions and/or inquiries:

Editorial Committee
Journal of International and Advanced Japanese Studies
Master's and Doctoral Programs in International and Advanced Japanese Studies
Degree Programs in Humanities and Social Sciences
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
University of Tsukuba
Tennodai 1-1-1, Tsukuba-shi, Ibaraki-ken, JAPAN 305-8571
jiajs@japan.tsukuba.ac.jp

* For the CFP, please refer to our website: <https://japan.tsukuba.ac.jp/research/submission-guidelines/>